

## 平成25年度第3回大分県行財政改革推進委員会 知事あいさつ要旨

本日も大変お忙しいところ、皆様にはご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。今日も議題が盛りだくさんでございますけれども、どうぞよろしくお願ひ申し上げる次第でございます。

ちょうど年度末と言いますか、来年度に向けまして予算を編成したり、あるいは組織改正をやっていきたいというようなことで、私どもの方も来年度に向けていろいろ準備をしているところでございます。今日は、そういうことにつきましてもご報告を申し上げ、また、いろいろご指摘もいただきたいというふうに思っているところでございます。

特に、予算案につきましては、お手元に資料をお配りしておりますけれども、前年度に比べまして1.7%増、三年ぶりの当初予算でプラス予算を組みました。どちらかと言うと積極予算ということになろうかと思ひます。

眼目は二つございまして、一つは、やはり、世を挙げて今、景気雇用と、こう言われておりますけれども、なかなか県内の景気雇用、回復を実感できることになってないということなので、来年度は、ぜひ、景気雇用、県内の皆さんが回復を実感できるような対策をしっかりとやっていこうということで、そのためには国の予算もできるだけ取り入れて、いろんな事業をやっていこうと考えているところでございます。

それから、もう一つの眼目は、安心・活力・発展プラン、県の長期総合計画でございますけれども、そちらの方の実質的な最終年というぐらいの気持ちで、仕上げを急いでいこうということを考えておりまして、そのことについても、かなり思い切った手を打つことができたんじゃないかなと、こう思っているところでございます。

そうやって積極予算を組むことができたわけですが、併せて、来年度の予算につきましては、財政の健全化と言いますか、そこについても、むしろ、一歩も二歩も前に進めることができたんじゃないかなというふうに思っています。

と申しますのは、県税の収入が、5年ぶりぐらいに1千億円を上回るという

ことになりまして、これは、一つは、景気回復で法人関係の税が上がったということ。それから、もちろん4月からの消費税の税率アップでございまして、その分も少し含まれているということがありまして、税収が大きくなったということがあるものですから、その積極予算を組みながら、財政健全化についても前に進めるということができたということでございます。

いつも、当初は、財政調整用基金という貯金を取り崩して収支を償ってきたわけでございますけれども、今年度の予算では、それを非常に最小に収めるということができたということでございます。

従って、この委員会で、やっぱり非常時のことを考えると、当県の財政歳出規模は6千億円ぐらいでございますけれども、貯金はその5%ぐらいは少なくともいるなど。300億円ぐらいはいるなど、こう、ご指摘をいただいておりますけれども、来年度末も300億円は、十分に確保できるのじゃないかというふうに思っているところでございます。

その分はまた、財政調整用基金の取り崩しが足りない部分は、いつも、今度は借金ということでやっておりましてけれども、県債の方も、今度は非常に少なくて済みまして、こっちの方も県債残高、総額において減少ということを達成することができました。こちらも、そういうようなことで、貯金も大丈夫、それから借金の方も、県債残高の方も減らすことができたというようなことで、ほんとうに皆さん方にいろいろご心配をいただいたおかげで、財政再建の方にも一歩近づいたんではないかというふうに考えているところでございます。

そんなことでしっかりと事業を展開し、そして、加えて財政の立て直し、行財政改革もしっかり取り組んでいきたいというふうに思っております。引き続き皆さん方のご指導とご教示を心からお願い申し上げます。

今日もどうぞよろしくお願いたします。ありがとうございました。